

1 情勢報告

津野山地区のユズの出荷が始まる

JA津野山ユズ部会



目慣らし会



出荷風景

JA津野山からJA馬路村への契約ユズの出荷が、11月11日から始まり11月30日までの予定です。それに向けた目慣らし会が11月7日に3ヶ所で行われ、JA、振興センターから出荷規格、作業等の説明が行われ、参加者の意識の統一が図られました。出荷4年目となりますが、参加者は43名で、出荷規格の再確認ができました。

本年のユズは、表年のまわりではありますが、着果数がやや少ない予想です。来年から新植ユズの出荷ができそうです。

今後も、振興センターでは、JA等と連携しながら、栽培技術の講習会や巡回指導等を行いながら生産拡大と品質向上を図り、JA馬路村に信頼される産地を目指していきます。

中土佐町大野見【神母野集落】が集落営農先進地視察を行う



共同利用機械の説明を受けている様子

中土佐町大野見の神母野集落では、農業機械の共同利用など集落営農に対する理解を深めるため、11月19日に13人の参加者のもと県内の集落営農先進地の四万十町の見付権七営農協議会に行ってきました。

代表の林さんから集落営農組織ができるまでの経過や、機械の導入状況、組織の決まり事などの説明を受け、実際に導入した機械を見せて頂きました。

「できることからまずは一緒にやってみたら。」というアドバイスを頂き、今後、神母野集落では集落営農について勉強会を進めていくことになりました。

須崎地区農村女性リーダー協議会が開催される



11月21日、津野町役場において、農村女性リーダーネットワークの西笛会長、居長原地区委員を招いて、須崎地区の協議会を行いました。

本年度、須崎地区からネットワーク地区委員を出せなかった状況や今後の農村女性リーダーの活動などについて話し合いました。新規認定を進め、若いリーダーを育てていこうという共通認識を持ちました。

会長から「須崎地区へ来て直接話が聞けて良かった。今後の農村女性リーダーの活動についての見直しを検討する」という言葉をいただきました。今後も振興センターでは、農村女性リーダーの活動支援を進めていきます。

1 情勢報告

J A土佐くろしおインゲン部会の総会が行われる



11月17日に、JA土佐くろしおインゲン部会の平成24園芸年度出荷始め総会が行われました。くろしお管内のインゲン生産者は年々増加し、専作人員も23園芸年度より6名増加し63名になっています。

市場・園芸連からの販売情勢報告では、冬季の産地として高知県産が重要であること、くろしお産は県内の70%を占めていることなどが示されました。

振興センターからは、曇雨天の多いという気象予測を受けて、生育ステージと気象にあわせた管理について説明しました。

今後も部会全体の栽培技術の向上を図り、信頼される産地づくりを目指していきます。